

2022 年度第 3 回 SPring-8 ユーザー協同体評議員会 議事録

日時：2023 年 1 月 8 日(日) 12 時 05 分～12 時 55 分

場所：立命館大学 びわこ・くさつキャンパス フォレストハウス F 2 0 5 及びオンラインにて開催

出席者：(SPRUC 会長) 西堀英治、朝倉 清高^{※1}、浅田光則^{※2}、足立伸一^{※2}、雨宮健太^{※2}、有馬孝尚^{※2}、伊藤廉^{※2}、内海渉^{※2}、尾角英毅、尾嶋正治、片山芳則^{※1}、岸本浩通^{※1}、久米卓志、坂本直紀^{※1}、田中義人、長井康貴^{※1}、中川敦史、西原克浩^{※1}、原田慈久、藤原明比古、船城健一^{※2}、水牧仁一朗、水木純一郎、矢代航、渡辺義夫、綿貫徹(以上、評議員(幹事兼務含む))

亀島敬、木村 昭夫、久保田佳基、小林正起、杉本邦久、鈴木基寛、谷山明^{※1}、松下智裕^{※1}、松田巖、永村直佳、南後恵理子^{※1}(以上、幹事、監事又は委員長)

(SPRUC 事務局) 辻本繁樹、岡田行彦

(オブザーバー) 石川哲也、中村潤^{※1}(以上、理研)、雨宮慶幸、櫻井吉晴、坂田修身^{※1}、大端通、木村滋(以上、JASRI)

※1：オンライン出席者

※2：委任状での出席者

1) 議事に先立って西堀会長より挨拶があった。また、前回議事録(資料1)の確認があり、評議員等から質問等なく確定された。

審議事項

- 1) 鈴木庶務幹事より、資料2に基づいて第5回 BLs アップグレード検討 WS 開催計画について説明があり、プログラム案について承認された。
- 2) 鈴木庶務幹事より、資料3に基づき2022年度特別総会の議題について確認が行われた。また、例年総会で行われてきた JASRI の施設報告については、今回 BLs アップグレード検討 WS が同日に行われるため、内容が重複する。審議の結果、WS の近況サマリーや利用制度の中で施設報告に相当する総括を依頼し、特別総会時では省略することが承認された。
- 3) 鈴木庶務幹事より、資料4に基づいて Young Scientist Award (YSA) の規約案について説明が行われた。補足として、休業期間の証明方法は、大学からの休業証明を出してもらうこと、今年度は優秀者多数のため原則2名の追記は好ましいこと、休業の場合の年齢制限は設けない旨説明が行われた。確認事項として、4月1日以下となっているが、誕生日の前日に年齢があがるため未満の方がよいかもしれないという意見があった。これらの議論を踏まえ、規約案が修正なしで承認された。規約についての今後の手続きは、メール審議含んで迅速に行う。また、YSA 名称の変更についても審議が行われた。その

結果、積極的に変えたいという意見はなく、名称はそのまま「第 X 回」を追加することとなった。次の YSA 募集案と推薦書の要項案についても説明が行われた。先の規約案によると、受賞者が 2 名以上の可能性があるが、その場合は SPring8 シンポジウムに影響する。ただし募集開始を 2 月に始められるとシンポジウム内容について考慮することが可能であるとの説明があった。

- 4) 西堀会長より、資料 5 に基づいて今後の次期執行部の発足時期について、現状よりも早める提案が行われた。現状では、執行部の決定は 4 月であり SPring8 シンポジウムの調整開始と重なることから支障がある。審議の結果、今後は 9 月に会長の決定を、1 月に次期幹事の決定を行うことの是非に関して、次回以降引き続き検討することとなった。

報告事項

- 1) 亀島選挙管理委員長より、第 12 回評議員選挙の開票結果の報告が行われた（資料 6）。
- 2) 杉本行事幹事より、資料 7 に基づき SPring8 シンポジウム 2022 の開催報告があり、今年度は産学連携をテーマに活発な討論が行われたなどの説明が行われた。
- 3) 久保田会計幹事より、2022 年度予算執行状況と SPring8 シンポジウム 2022 決算について説明が行われた。
- 4) 小林利用幹事より、資料 10 に基づいて第 6 期研究会開催状況の報告が行われた。研究会の開催回数について質問があった。対面で SPring8 シンポジウムが行われていた時は、その前後に開催されていたが、コロナ禍により開催時期や回数について影響を受けている模様。

連絡事項

- 1) 鈴木庶務幹事より、資料 11 に基づいて今後の予定の説明と確認が行われた。

以上